

野老(トコロ)通信 第12号(2/2)



ホームページ : [http:// tokoro-jikken.net/](http://tokoro-jikken.net/)

発行 : 2017年10月 1 日 野老実験クラブ 2017年度 上半期 2/2 (7月~9月)

夏休み子どもワークショップ 親子理科教室

7月22日(土) 所沢市立教育センター
9:10~10:10 10:30~11:30 AMラジオ

24組親子×2時間×2教室=93組親子参加 3名欠席(功力・高草木) 2011年から7回目
元校長先生Gは、浮沈子を作成。



低学年のお子さん頑張ってコイルを巻いて作りました。作って試聴するのがやっとでしたが、皆喜んで持ち帰りました。応募280のうち理科希望は約200弱

第8回 星空フェスティバル

7月23日(日) 14:00~16:00 所沢市生涯学習推進センター
FM小型ラジオ 28組親子(応募122組) 2011年より7回目



初めてのFM小型スピーカー型ラジオ。お手伝いメンバーも初めてでした。
完成品は見栄えもよく、良く聞こえてとてもいいラジオができました。

夏休みワークショップ

渋谷区子ども科学センター・ハチラボ 2013年より5年目

①7月28日(金) 電気のふしぎ

お湯と水で電気を作ろう (江藤、上原(江藤さん友人)佐藤)

①10:30~11:30 ②12:30~13:30 ③13:30~14:30 ④14:30~15:30

参加 児童40名 保護者24名 夏休みの宿題にしよう中学生まで参加

時期的に夏休み入ってすぐで
良かったようです。

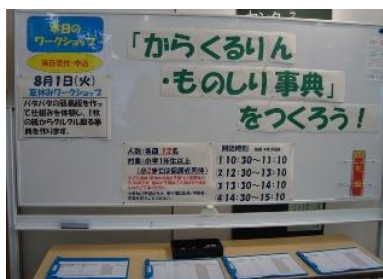
観覧車はいつものように大人気でした。



②8月1日(火) からくるりん・ものしり事典を作ろう (佐藤、山根、神谷、後藤、伊原)

参加 児童 36名 保護者 21名 前半 パタパタ 後半 からくりペディア

①10:30~11:30 ②12:30~13:30 ③13:30~14:30 ④14:30~15:30



元SVの山根さん、後藤さん、伊原さんにお手伝いお願いしました。恐竜イベントと重なり、一時人がきませんでしたが、最後に少し来場者が増えました。親の方が不思議がって、楽しんでくれました。

③8月3日(木) アートな立体を作ろう (サボテンの花) (神谷、後藤、原、佐藤)

参加 児童 49名 保護者 32名 幼児 3名 AM 10:30~12:00 PM 13:30~15:30

前半 組みがみで立方八面体を作る。 後半 牛乳パックで立方八面体を作る。



リサイクルセンターでもらってきた「とこロン」のイラストを牛乳パックでつくる立方多面体の飾りに使った。「とこロン」を知らない人が多く、神谷さんが所沢を宣伝した。話のきっかけになって良かった。組みがみと牛乳パックの工作を組み合わせるの初めての実施。

④8月10日(木) 室内で歩きながらあがるふわふわ凧をつくろう (功力、六反田、佐藤)

AM 10:30~12:00 PM 13:30~15:30 参加 児童 27名 保護者 35名 幼児 14名



幼児の参加もあり、大盛況だった。

切れはしでミニ飛行機やハートなどをつくり連凧にしていた。

⑤8月23日(水) よく飛ぶ紙トンボを作って飛ばそう! (小森、六反田、佐藤)

①10:30~11:30 ②11:30~12:30 ③13:30~14:30 ④14:30~15:30

参加 児童 25名 幼児 1名 保護者 11名+先生 3 (インターナショナルスクール)



お盆明けの日程で来場者が少なく、もったいなかったです。インターナショナルスクール他、日本語が話せない児童がたくさん来ました。都会だな～紙トンボは、作った後に飛ばす楽しみがあり、子どもたちは慣れない紙トンボ飛ばしに挑戦しました。

施設公開 工作教室

(採用の経緯)

7月29日(土) NICT 鹿島 2015年より3回目
FMラジオをつくろう(功力) 80名(20名×4回)

- ① NICTの公開日における工作教室は通常の出来事であった。
- ② あるとき、NICT管理グループの佐藤さんに、茨城電波適正利用推進協議会から、“野老実験グループ”の功力の話が出た。
- ③ 呼び出された。
- ④ いろいろと見本をもって出かけた。
- ⑤ 風車の風力発電機が採用された。(AMラジオは聞こえない地域であり、海岸にはいくつもの風力発電機の羽が回っている。)

今回は“江藤さんラジオ”を持参したら、大きなスピーカの方が良い。とのことで、50φのスピーカ付きとなった。

夏休み講座

7月30日(日) 10:00~12:00 2015年より3回目
所沢市リサイクルふれあい館エコロ (功力、高草木、佐藤)

プロペラで動くペットボトルカーを作ろう 参加児童20名 保護者20名



組み立て、飾り付け、最後にレースで盛り上がりました。

採用経緯：生涯学習推進センターにいた方が異動になり声をかけてくれた。

夏休み科学教室

8月3日(木) 10:00~11:30 参加児童 18名
さいたま市植水公民館 サボニウス風力発電機を作ろう(功力、江藤)



植水公民館は“東グループ”の小林さん、本郷さんが過去には担当してやられていました。5年くらい前から、それを功力と中里さんと引き継ぎました。更に昨年くらいから、指扇公民館経由で依頼が来るようになりました。だんだん断り切れなくなりました。

夏休み科学教室

8月4日(金) 10:00~11:30 参加児童36名+お手伝い中学生6名
さいたま市指扇公民館 ボイスレコーダーを作ろう(功力、高草木)



(過去の経緯) 2013年より4回目

担当の坂内さんになってから今回が5回目だそうです。1回目(AMラジオ)、2回目(電子楽器:エレー音)、3回目(ビーブ君(今安さん主催))、4回目(FMラジオ)、5回目(今回のボイスレコーダー)でした。

応募者70名、参加人数も36名と多数、1~2年には保護者同伴
地元の中学生がスタッフとして参加。ボイスレコーダーは、スピーカータイプ。

メルト体験事業 理科実験ワークショップ

8月20日(日) 13:30~15:30 今年から
川越西文化会館 第3会議室

FMラジオを作って聞いてみよう(功力、立原、六反田、渡部、高草木)



今回川越西文化会館での講座は初めてである。公益財団法人川越市施設管理公社のKFPアーツに登録したことがきっかけで、公社の自主事業にノミネートされての初参加です。いくつかサンプルを提示した中でFMラジオが気に入られて採用された。応募者は約2倍と聞いている。当日、会場は館長の計らいで設営が整っていた。

愛日小サイエンスフェスタ

9月3日(日) 10:00~12:00 新宿区立愛日小学校 体育館

参加児童 43名 保護者 26名 幼児 10名 チビラボ 15名参加

(中村、江藤、高草木、六反田、佐藤)

2015年より3回目 市谷小より紹介

野老: スライム、光で変身忍者でござる、ふわふわ凧、

チビラボ: 空気砲ショー、ベンハムのコマ、振り子人形、 絵合わせ、空気砲体験コーナー



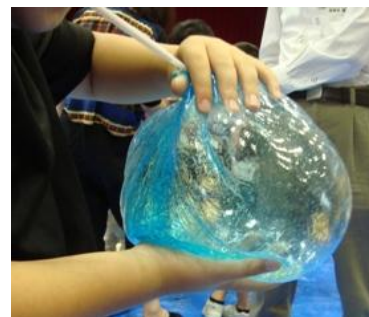
ショー (開始後25分)



ふわふわ



スライム



ふわふわ



絵合わせ



光で変身



光で変身



ベンハム



振り子人形

サイエンスフェスタの日程決めが難しくハムフェアと重なってしまった。夏休みを挟んだので申し込み57名から参加が43名と減ってしまった、参加児童が少なかったのでのんびりと対応できた。

編集後記

野老実験クラブも立ち上げから7年目となり、この通信も12号となりました。

写真が多いため、メール配信用に4月～6月、7月～9月の2通に分けました。

各イベントがいつから続いているか明記しました。何回目と何年目という記載がありますが、年一回のものは何回目、年数回実施している場所は何年目です。

今年は、家の事情で実家へ行っている事が多く、いろいろご迷惑おかけしました。また、連絡をすっかり忘れる事があり肝を冷やしました。石巻の申し込みと生涯学習センターへFMラジオのテキストを送り忘れました。申し訳ございません。それでもやってこられたのは、みんなに助けていただいたからで、ありがとうございました。

今年の夏は川越の文化祭に参加というビッグイベントがありました。また、カッコイイチラシも完成しました。川越文化祭は、所沢の教育センターのように毎年参加出来る地元の恒例行事になるといいな～と思います。いつも川越のメンバーに助けてもらっているので川越でイベントができるようになって本当に良かったな～と思います。高草木さんには、アーツ登録やチラシ作成から当日の仕切りなどありがとうございました。

夏のテーマの多くは功力さんに準備していただきありがとうございました。FM小型スピーカーラジオもAMラジオも大人気です。プロペラで動くペットボトルカーも子どもたちは大喜びでした。また、ハチラボでも皆に助けていただき、ありがとうございました。江藤さんの発電実験は渋谷でも人気です。観覧車はインパクトがあってみんな大好きです。神谷さんのサボテンの花は「アートな立体」と名前を変えて実施、牛乳パックの立体と一緒に作った事で立体に興味を持ってもらえました。ふわふわも紙トンボも参加者が喜ぶ楽しい講座となりました。皆様のおかげで夏のイベントが無事に終わり ホットとしています。

実施回数（上半期）は、最近の三年を比べると

昨年度比較	実施回数	講座数	参加児童数	参加保護者
2015 上半期	24 回	75 回	1532 名	530 名
2016 上半期	18 回	41 回	889 名	387 名
2017 上半期	24 回	64 回	1354 名	329 名

イベント数を増やすつもりはなかったのですが結果的に一昨年並みになりました。ちょっと忙しすぎた気がします。私も含めメンバーの多くが、親の事が大変な年代となりました。今年の編集後記でももっと回数を減らしたいと書いていて、結果的に増えてしまったので都内など野老でなくても良い場所は遠慮して、地元で根を張って行こうと思うようになりました。もっと精力的にやりたいという方がいましたら、消極的で申し訳ない。

回数をこなすより、皆で楽しみながら 新規開発などに時間を使ってもいいのかなと思いました。高草木さんの「こういう活動では完璧を求めない。」に救われています。イベントを楽しんで無事に終わるとホッとするとともに充実感が味わえます。皆さんと一緒に充実した気持ちを味わえて幸せです。いろいろ追い付かない事が多く、いろいろなチェック漏れが出てくるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

後半のイベントも みなさんと楽しみながら活動できたら たいへん嬉しく思います。 さとうやすこ